

道標ない旅

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ

・しなやかな心～



◆◆ 2/10 に第5回南郷中・長柄小合同学校運営協議会が開かれました。ダイジェストで紹介します。 ◆◆

(1) 両校教頭より、12月(第4回会議)以降の学校の様子が報告されました。

長柄小学校教頭からは、いろいろなことが出来るようになったこと(たてわり遊び、1・2年交流会、かるた遊び、1・6年ポップコーン、書き初め、3年クラブ見学、あいさつ運動、サイエンスショー、一色小への昔の道具見学、4・5年運営委員会選挙、節分等)や、コロナ・インフルエンザの状況等が紹介されました。最近開設されたリソースルームに、守秘義務に対してしっかりと理解のある地域の方が、児童と共に訪れ、リソースルームのお手伝いをしてくださっていることなどが紹介されました。

南郷中学校教頭からは、1年総合で、町長さん達による葉山エシカルアクションについてのお話や、英語のレシテーションコンテストの様子が動画で紹介されました。また、インフルエンザの影響で、自宅から、または他の教室から、或いは発表会場からの3カ所から代表が動画等で登壇した意見文発表会の様子も紹介されました。2年生では、横浜班別行動・平和学習の様子とその重要性が紹介されました。3年生は面接練習など入試モードの中、3年担任が工夫して節分やクリスマスでの集合写真を残す取組等が紹介されました。又職員等の、南郷中学区の教育講演会や、長柄小との合同研修や、新入生保護者説明会等が行われたこと等が紹介されました。



(2) 合同学校運営協議会HPが開設されました。

いよいよ合同学校運営協議会のHPが始動しました。(URL: <https://nagae.hayama-cs.com/>)
まだ、キーワードでのGoogle等の検索には引っかかりませんが、「コミスクとは?」という方々への疑問に答えるホームページになっています。何より、メールにて合同運営協議会に質問やご意見等を寄せる機能がありますので、保護者の方々や地域の皆様に活用して頂けるようになることを期待しています。

(3) 長柄小学校下での逗葉新道への右折進入許可に係る進捗状況

道標ない旅第31号で紹介した道路状況が報告され、安全な右折のためには、心に十分な余裕を持って、本当に安全な状況で右折進入する心がけが重要だという共通認識を運営協議会一同で共有しました。申請した結果交通事故が生じてしまったら、元も子もないという意識も共有されました。申請するにあたっては、その点が保護者・地域の方々と共有していく必要も感じました。申請は慎重に決断すべき内容なので、3月の合同学校運営協議会において、再度審議した上で、申請の是非を決定していこうという方向性が確認されました。

(4) 学校活動に協力いただける団体・個人の募集について



地域学校協働活動推進員の水留さん矢地さんから、両校の教育活動にご協力頂ける団体や個人の方の募集について提案がありました。町づくり協会などに属していたり、すでに南郷中学校のFGC活動等にご協力頂いたりした実績のある団体や個人の方に、書式を含む案内を送付することは簡単です。しかし、今まで活動実績のない方が、放課後サポート学習教室の支援や、リソースルームのお手伝いや、プール教室の支援や、登下校スクールガードボランティアとしてのお手伝いなど、生きがいとしてやってみたいと思われる方が長柄地区にいらっしゃるかと推察します。その方々は、まずは、上記ホームページの問い合わせを利用するか、両校教頭へお電話頂けると良いという報告がありました。

(5) 南郷中学校の学校評価(案)が森岡校長から報告されました。発表を受けて寄せられた運営協議会各委員の発言を紹介します。

①新しい時代に必要な資質・能力を育む学校

- 教師の機器利用の後退は、情報機器が全て学習教材とは思わないので、対面で学び合える場面も増えて何でも情報機器ツールに頼るわけではなくなったことが大きいのではないかと。学習改善についての項目はきちんと上昇しているのでそう思う。
- 教える授業ではない、探究が出来る授業に切り替わってほしいと考えている。
- 答えを教えてしまうとそこで学びが終わってしまうケースが多い。子どもたちの興味をどんどん引き出せる教授法を身に付けていただくと、子どもの着眼点等は伸びると思う。
- 小学1～3年で身に付けるであろう基礎がしっかりしていないと、探究学習が成立せず、わがままな考えが横行する正解のない学習で育ててしまう危惧がある。3年までの基礎学習がとても重要に聞こえてくる。
- 情報機器に問えば正解が簡単に出てくる現在の学習って本当に身につくのだろうか疑問を感じる。まして、教えない教授法って一体どんなものか、成果が上がるのか気になる場所である。
- 授業は教師が児童生徒に興味を抱かせる仕掛けから始まると思っている。最近はいろんな学校で授業を見ても、一体この授業を通して最終的に何が残るのか見えてこない授業が多いように感じる。答えを教えず、探究させる授業を続けたときに、児童生徒に残していける成果がどんなものなのか、それが日本が一番に振り返れる成果につながるのか、這い上がれずに終わってしまうのか、難しいことだと思うが、10年後の成果に注目したい。

②豊かな心を育み、信頼でつながった学校

- 生徒の目に、忙しそうにしている教師集団に映ってしまう経営に反省が残る。数値に後退が見られる。相談しやすい学校・教師は今後も重要な課題だと考える。
- 職員室に鏡をおいて、自己チェック出来たら良いかもしれない。スマイル0円を掲げる気持ちで、生徒と接してほしい。
- 今年度、PTAから見た教頭先生・校長先生の好感度は高く、評判が良い。このムードを続けられるPTAでもありたいと願う。
- 課題点を生徒に投げかけ、その答えを先生方と共有して対策を講じようとする学校の姿勢がとても良いと感じている。



③地域を愛し、地域から愛される学校

- コミスクとしていろいろと出来始めていることで、苦言等も増えていくかもしれないが、ここが南郷中の持ち味なので、積極的に頑張っていきたいところである。
- 今でこそ、先生方が積極的にコミスクルームへ顔を出してくれるようになってきているが、もっと顔を出しやすい部屋にしていきたいと思う。
- 南郷中の先生方がコミスクルームの在室状況を気にするようになってきた。相談したいなと捉えてきているようだ。
- 先日の会議の場で、南中の先生が「コミスクって忙しくなるの?」と尋ねられて、「負担は全く無いですよ。むしろ楽になる部分がある。」と伝えている場面に出会った。これが先生方の実感なんだと感じた。

④いじめに向けた対策

- 生徒会のアナウンスが少なくなると数値は下がるようだが、南郷中学校生徒の意識は非常に高いものがある。
- いじめの件数はどのくらいあるのか?→ほとんど無い状況。SNSを介したいじめ案件が4～5件くらいあったけど認識している。→「嫌な思いをさせた」ことを指導した程度。個人のスマホの使い方に課題がある程度。すごいことに、周囲の生徒がその(加害?)生徒のことを心配して伝えてきてくれる状況がある。そのレベルで解決できる。→今年度は特に本当にいじめ事案がない。毎日のやりとり帳が効果を上げている。
- 本校に赴任した頃と比べて、先生方の対応が質的に向上している。

(6) プレストタイム(自由な意見交換)

- 第6回の会議には、ご意見を頂きたいところを明らかにして、事前に資料提供する予定である。
- 次年度の日程では、2月頭に行う第5回合同学校運営協議会を2月の中下旬に下げて、より年間反省が作成しやすい時期にして良いだろうか?3月初～中旬に行う第6回合同学校運営協議会と日程的に近くなってしまうが、了承して頂けるであろうか?→承認を得る。(次年度予定に反映予定)